

○参議院選挙、本当にありがとうございます

参議院選挙の結果には、身の引き締まる思いがします。自民党だけではなく、政治全体に対する失望感が、国民の中にあっただと思われまます。だから、今回は、「とりあえず民主党」という選択を国民はしたと、私たちもこれを謙虚に受け止めるべきだと思っています。今度は、私達が国民に真を問われる番です。

9月早々にも始まる臨時国会で、参議院の多数をテコに、今できる民主党の改革案を提出していくことで、「今すぐ出来る事」を実現することだと思っています。全ての経費を一円から開示する政治資金規正法改正、天下り根絶法、国民年金を含む年金の一元化、重度障害者など自己負担分の支払い能力を持たない人々に対する障害者自立支援法の執行停止、最低賃金の引き上げやパート、派遣請負などと正規職員の待遇格差是正などの労働法制の改正などなど、前年から私たちが提出しても与党に無視され続けてきた法案は沢山あります。

また、来年の通常国会に向かって、さらに根本的な議論が必要です。三位一体改革で地方住民税を上げ、自治体の自主財源を確保したと説明をしますが、実際は、東京の一人勝ち。過疎地を中心に財政破綻を起こすまでに拡大した格差は深刻です。これを解消するための具体的な政策立案が必要です。さらに、年金や医療、福祉など国民の安心に結び付く改革を実現するための財源。ムダを省く行財政改革の具体化はもちろん、税と保険料の負担割合のあり方や消費税、環境税などの議論に結論を出さなければなりません。と思っています。

自民党大敗にかかわらず、与党の中では、安倍総理が続投していく話が進んでいます。赤城農相は、辞任をしました。これから先、安倍総理の言葉がどこまで信頼感をもって国民の間に受け止められるのか。

ここが問題です。

○ソウルで北朝鮮の人権集会

北朝鮮の6ヶ国協議が進展していく中で、日本の新しい外交戦略が求められています。私は、従来から拉致問題を北朝鮮と日本の2国間だけで交渉するのではなく、他の国々を巻き込んだ多国間交渉に持ち込むべきだと、主張してきました。

4年前に私も発起人の一人となって発足した「北朝鮮の人権問題に関する国際議員連盟」の総会が去年のモンゴルに引き続き、今年は韓国のソウルで8月29日に開かれます。毎年参加国が増えてきて、今年は40カ国を越えそうだと連絡が来ています。拉致問題はもちろんですが、それだけではなく、中国に潜伏したり、韓国や日本に逃げてくる脱北者の問題、韓国の離散家族や480人にもおよぶ韓国拉致被害者の問題。北朝鮮国内で抑圧されている人々や強制収容所での人権蹂躪。こうしたところにも、私達日本国民の目が届き、広く一緒に戦おうという機運が起きて欲しいと思ってきました。今回の集會も周辺諸国の運動家やマスコミ、そして、議員達が一堂に会して、はっきりと北朝鮮に「人権抑圧は許さない」と、メッセージを発すること。それが、北朝鮮に対する大きな圧力になると信じています。私と一緒に日本から参加することになった国会議員も与野党あわせて12人になりました。

○早朝のビラまきに手ごたえ

今回の選挙では、毎朝、主要な駅前やショッピングセンターで政策ビラを撒きました。「おはようございます。」と、ハッキリ声をかけて、相手と目線を合わせ、笑顔でビラを渡す。これが、受け取ってもらうコツ。目も合わせてもらえず、拒否される時のくやしき。一方、「がんばってよ。」と声をかけられた時は、天にも昇る思いです。